

---

# 安楽樹

安楽樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

安楽樹

### 【コード】

N7947Q

### 【作者名】

安楽樹

### 【あらすじ】

零れ落ちた物語の欠片たち。

僕は食いしん坊で、物語を食べ尽くす。

まだ足りない。まだ。

食べ続けてもまたすぐにお腹が減ってしまう。

現実っていう物語は、ひどくあっさりしすぎていて、頑張っ  
て温めようと思うのだけど、すぐに冷めて食べられなくなってしま  
う。心にもたれて、時に胸焼けを起こすこともある。

だんだん材料も少なくなってきた。

……また僕はお腹が減る。

一体いつになったらお腹は一杯になるのだろうか？

街を見てみると、満腹そうな人をよく見る。大体そういう人たちは  
恋人同士。

彼らは何をそんなに食べているのだ？

僕は料理が下手なのだろうか。

\*

ある時、僕の頭から芽が出てきた。

それは何だか分からなかったけど、その芽が成長して立派な木にな  
り、そうしてできた実のことを考えると、よだれがジュルジュル出  
てきて、お腹がグーグー鳴り出した。

そうか、わかった。

僕から育って僕が味付けをしたその実なら、きっと僕を満腹にして  
くれるに違いない。

それから僕は、小さな芽を大事に育てることにした。

僕は、その安らかで楽しそうな樹が枯れないように、時々その上に涙を落とす。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7947q/>

---

安楽樹

2011年10月8日14時41分発行